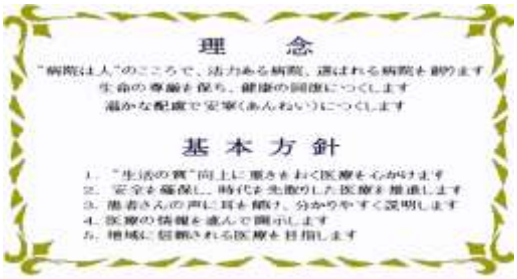
診察などでお待ちの間にお読み頂くパンフレットです。

札幌医療センターつうしん

（2020－6 号）

令和 2 年 6 月 1 日　発行
ＫＫＲ札幌医療センター
〒０６２－０９３１
札幌市豊平区平岸１条６丁目３－４０
電話（０１１）８２２－１８１１
http://www.kkr-smc.com


理　念

"病院は人"のこころで、活力ある病院、選ばれる病院を創ります
生命の尊厳を深め、健康の回復につとします
温かな配慮で安寧(あんねい)につとします

基 本 方 針

1. "生活の質"向上に重きをおく医療を心がけます
2. 安全を確保し、時代を先取りした医療を推進します
3. 患者さんの声に耳を傾け、分かりやすく説明します
4. 医療の情報を進んで開示します
5. 地域に信頼される医療を目指します

6 月（卯月）のこよみ

6 月	4～10 日	歯の衛生週間
6 月	10 日（水）	時の記念日
6 月	21 日（火）	父の日

診療部長就任のご挨拶

診療部長　加藤　正仁

令和２年４月、診療部長を拝命いたしました加藤正仁です。私は、昭和 63 年に北海道大学を卒業し、脳神経外科医として診療に従事してまいりました。様々な現場で臨床経験を積み、平成 26 年４月に当院に赴任いたしました。

脳神経外科は、さまざまな病気を扱う科です。勿論、脳腫瘍、脳卒中、頭部外傷がメインですが、三叉神経痛、顔面痙攣といった顔の“痛み”や“けいれん”の外科的治療もします。私は、これらの病気の原因となる“血管による神経の圧迫”を解消する手術も行います。

三叉神経痛は、片方の顔の一部が激しく痛む病気です。よく“顔面神経痛”と言われますが、顔の感覚を司る神経は三叉神経なので、“三叉神経痛”が正しい病名です。顔面痙攣は、片側の顔が自分の意志と関係なく、ひきつれる病気です。顔面神経は、顔面の筋肉の運動を司る神経です。顔面神経が麻痺すると顔の表情がなくなりますが、逆に自分の意思とは関係なく、顔の筋肉が勝手に動いてしまうのがこの病気で、多くの場合、目の周囲のぴくつきから始まり、頬や口の端までひきつれるようになってしまいます。顔には、いろいろな痛みや痙攣が起こります。悩まれている方がいらっしゃいましたら、一度、ご相談ください。

ところで、現在は、中国の武漢に発した新型コロナウイルスの世界的流行で、人類の英知が試されている状況です。見えない敵との戦いは総力戦の様相を呈しています。当院も、感染症指定医療機関、連携医と協力し、長期戦にも備える覚悟です。

しかし、非常事態の下であっても、当院の診療の２本柱である、「がん診療」と「救急医療」は全く揺らぐことはありません。

当院の基本方針にもありますように、常に安全を確保し、時代を先取りした医療を推進したいと考えております。また、〝生活の質〟向上に重きをおく医療を心がけてまいります。

さらに、全ての治療を当院で行うことは難しいのですが、多くの病院・診療所と連携し、地域・自宅での生活を重視する医療に重点を置き、皆様に信頼される医療機関であり続けたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

当院は≪敷地内全面禁煙≫となっております

MRI 検査と脳ドック～よくある質問から～

診療放射線技師　　渡部　智仁

○ MRI 検査とは？

MRI（磁気共鳴画像）は強い磁場と電波を使って体内の状態を画像にする検査です。MRI 検査にはさまざまな特徴があります。1 番の特徴はレントゲン検査や CT 検査とは異なり、X 線を使わないため、『被ばくがない』ということです。

また、MRI 検査は脳や背髄、靭帯のような人体の軟部組織の撮影を得意としています。さらに造影剤という薬を使わずに血管を撮影することができます。

しかし、検査時間は大きな音がする中で 30 分程度と長くなってしまいます。検査自体は動かず寝ているだけでとても簡単ですが、筒状の狭い穴の中に入ります。閉所恐怖症の方は辛く感じてしまうかもしれません。

○ MRI 検査の注意点

MRI 検査では強い磁場を使っているため注意しなければならないことがあります。ペースメーカーを埋め込んでいる場合や手術などで体の中に金属がある場合は検査ができないことがあります。

また、検査の前に身に付けている金属類は外していただきます。撮影部位以外に金属がなければ大丈夫なのでは？と思われるかもしれませんが、検査室全体に強い磁場が発生しており、金属を身に付けていると MRI 本体に引き付けられ、壊れてしまう場合があります。

さらに、電波を使っているため金属が熱を持ち火傷をする危険性があるので、撮影部位に関係なく外していただきます。検査室内に持ち込めないものには眼鏡、入れ歯、ヘアピン、下着の金具、診察券などの磁気カード、携帯電話、時計などがあります。意外かもしれませんが、マスカラやアイシャドーなどに金属が含まれるものがあるため、お化粧を落とさなければならないことがあります。

○ 脳ドック

脳の病気は前触れもなく突然発症します。発症すると死に至る可能性が高いと言われています。悪性新生物・心疾患に次いで脳卒中（脳梗塞やくも膜下出血、脳出血）は日本人の死因の第 3 位と言われています。

脳ドックは脳卒中や脳腫瘍などの脳疾患の早期発見、予防を目的とした健康診断です。自覚症状のない脳梗塞や脳出血、脳腫瘍の発見や、クモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤や脳梗塞の原因となる動脈狭窄、脳動静脈奇形などの発見に役立つと言われています。

日本脳ドック学会のガイドラインによると中・高齢者や脳卒中・認知症の家族歴、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満、喫煙などの危険因子がある場合には受診を勧めています。これらの危険因子をお持ちの方は一度脳ドックを受けていただければと思います。